



学校だより

平成30年11月21日
 佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 No. 67
 〒952-3541 佐渡市水津858
 TEL 0259(29)2313 小：E-mail maehama-es@sado.ed.jp
 中：E-mail maehama-js@sado.ed.jp



地域・学校共に活性化を目指して

前浜小学校 校長 櫻井 和宏

秋の出来事から・・・

まずは合同運動会。本当に素晴らしい運動会でした。会場にいる大人、子どもが一体となった雰囲気、実に快感で、今でも忘れられません。閉会式で述べたとおり、子どものための運動会であると同時に、まさしく地域のための運動会を見せていただいた思いです。

折しも、佐渡市教育委員会では「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の本格的な導入を目指しています。この制度は、学校と保護者や地域住民が、子どもたちの将来のために、そして明るく元気な地域を創るために、役割を分担して力を合わせましょう、という制度です。



今回の合同運動会は、まさしくその具体的な姿の一つでした。子どもの健全育成（忍耐力、連帯感等）のために、そして地域の活性化（コミュニティ、健康等）のために、学校と保護者、分館連絡協議会、保育園が役割を分担し、共に力を合わせたからこそ、あれだけの一体感が生まれたわけです。

子どもを育てるには、地域の力がなくてはなりません。その地域の元気をも目指す「コミュニティ・スクール」に向けた取組を、前浜小中学校でも進めてまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

本年度はその手始めに、地域と学校を結ぶ役割の中心を担ってもらう「地域コーディネーター」に、主任児童委員の坂下佐知子さん（水津）をお願いしました。今まで以上にお世話になりますが、よろしくをお願いいたします。

次に水津福祉の日の集い。

「人生100年の時代到来！皆さんはどう生きますか？」と題し、話をする機会を得ました。子育て、定年退職、死ぬまで勉強、健康第一等々について、とりとめのない話をしたのですが、水津の皆さんの実に元気なこと。この地域の元気が、前浜の子どもたちをいい子に育てる源、パワーになっていると実感した次第です。

また、「子どものため」だけではなく、「自分のため」「地域コミュニティのため」という見方も加えたいと話しました。そんな一つの場になれば幸いと思い、「前浜シネマ」を実施しています。

12月が本年度最後の上映です。学区皆様のご来場をお待ちしております。



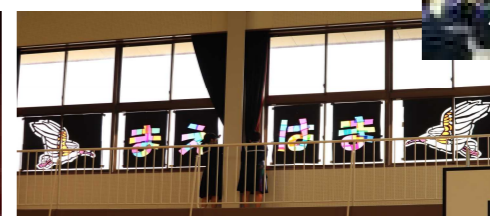
前浜小中学校 文化祭

昨年同様やや肌寒い11月17日（土）、平成最後の前浜小中学校文化祭を開催しました。オープニングの「前浜ばやし」では、演奏に合わせて小1～4年生10名が黄金の龍を操り、会場を盛り上げました。

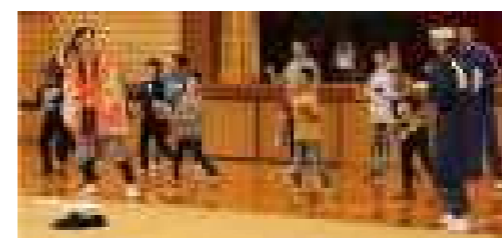
学習発表会では、どの学年も昨年に負けない熱いパフォーマンスを披露してくれました。可愛いながらも堂々とした太鼓を交えた低学年の劇「おむすびころりん」。手作りの着ぐるみを身に付け、出題にも工夫を凝らした中学年のクイズ「アゲハチョウが成虫になるまで」。そして、ユーモラスな台詞と動きで狂言の歴史と面白さを伝えてくれた高学年の劇「狂言 柿山伏」。どの学年も趣向を凝らし、会場から笑いと拍手を巻き起こしていました。

休憩の後は、趣を変えて音楽発表が行われました。最初は中学生による合唱「僕らの奇跡」でした。音楽発表会でも見せたピアノ伴奏と美しいハーモニーを客席に届けました。次の演奏は小学生による合奏「新世界」と斉唱「旅立ちの時」でした。篠笛で始まる合奏と澄んだ声で伸びやかに歌った斉唱は、観客の心を魅了しました。

発表会の最後を飾ったのは、生徒会による新企画「集結！アーティスト！」でした。全員で助け合い、みんなの心を温かくすることを目的に企画されました。4チームで文字の描かれた台紙に色セロファンを貼り付け、協力してスタンドグラスを完成させました。初めての試みに保護者や地域の方々は興味津々のようでした。トキの絵とともに完成したものをギャラリーの窓に貼り付けると、その美しさに会場から大きな歓声が起こりました。



午後の「チャレンジコーナー」では、野浦の臼杵様、山口様を講師に「春駒体験」、豊岡の川原様を講師に「昔の遊具づくり」がそれぞれ実施されました。どの児童・生徒も目を輝かせ、一生懸命に取り組んでいました。保護者の皆様もお子さんに寄り添ってくださり、良きふれ合いの場にもなっていたようです。



さらにPTA作品展では、保護者の皆様はもちろん、地域の方々もご協力くださいました。お陰様で音楽室いっぱい作品が並べられ、文化祭に華を添えていただきました。鑑賞カードを手にした児童・生徒は、お父さんやお母さん及び地域の方々の隠れた才能に驚いたようです。文化祭後の反省慰労会にも多くの方々に参加していただき、心より感謝申し上げます。

児童・生徒の頑張りに加え、保護者・地域の皆様に支えられて、感動を共有させていただいた一日となりました。

12月の前浜シネマ鑑賞会

日本名作映画 Japanese Classic Cinema

今月のテーマ 家族の心に触れる

12/1(土) 午後1時～3時05分頃 (開演12時45分頃)

『麦秋』

『麦秋』は、戦時下の日本を背景に、家族の絆と成長を描いた名作映画です。大スター陣で観るに値する傑作です。

■鑑賞：前浜シネマ 前浜小・中学校 多目的室
 ■会場：前浜小・中学校 多目的室
 ■TEL: 0259-29-2313 (担当 櫻井)

【サツマイモパーティー 10/24(水)】

子どもたちが学校菜園で栽培したさつまいもを使い、さつまいもパーティー(焼きいも作り)を行いました。1・2年生が頑張って掘り起こしたおいもをアルミホイルに包み、「もみ釜」でじっくりと焼いていきます。時間の経過とともに校舎においしそうなにおいが立ち込め、子どもたちみんなが「まだか、まだか!」と期待を膨らませて待っていました。期待通りのおいしいホクホクの焼きいもができあがり、子どもたちみんなでおいしくいただきました。



【全校サクラソウ苗植え 10/24(水)】

「卒業式・入学式を彩る、きれいなサクラソウを育てよう!」ということで、全校児童で毎年恒例のサクラソウの苗植えを行いました。最初に、苗を育てて下さった三國さんから苗の植え方を教えていただき、その後、上級生・下級生のペアに分かれて作業を行いました。上級生がやさしく下級生のお世話をする姿、下級生が苗を両手で丁寧に植える姿がとても微笑ましかったです。子どもたちみんなで大切に育て、1月にはたくさんのきれいなサクラソウが校舎を彩ることと思います。どうぞご期待ください。



【佐渡市小学校音楽発表会 11/7(水)】

アミューズメント佐渡において、佐渡市小学校音楽発表会が行われました。今年は、「新世界」の合奏と「旅立ちの時」の斉唱を発表しました。合奏「新世界」では、最初に5・6年生の篠笛から始まり、その後、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴等で表現豊かに奏でていました。打楽器担当の1・2年生も、とても上手にリズムを刻んでいました。また斉唱「旅立ちの時」では、詩の内容に合わせて声の強弱をつけながら、気持ちのこもったすばらしい歌声を会場に響かせることができました。

会場に駆けつけてくださった保護者の皆さんや他校の教職員からも、「篠笛すばらしかったね。」「素敵な歌声でした。」とお褒めの言葉をいただきました。



不審者対応の避難訓練 2018

昨年に引き続き、10月23日(火)に不審者に対応するための避難訓練を行いました。再び水津駐在所の高張様が不審者に扮し、訓練開始です。昨年に比べて少し危険な状況を想定して演じてくださったからでしょうか、やはり職員は対応に少々手こずったようです。しかし、児童生徒の避難は比較的速やかで、数分で全員が避難完了しました。

訓練の後、佐渡東警察署生活安全課の方より不審者対応について説明していただきました。その中で、安全を守るための「いかのおすし」という言葉を全員で確認しました。

- ☆ 知らない人についていかない ☆ 知らない人の車にのらない
- ☆ 「助けて」とおおごえで叫ぶ ☆ 怖いことがあったらすぐ逃げる
- ☆ 保護者や先生に知らせる

最後に、H・Yさん、M・Mさんがお礼と感想を発表してくれました。

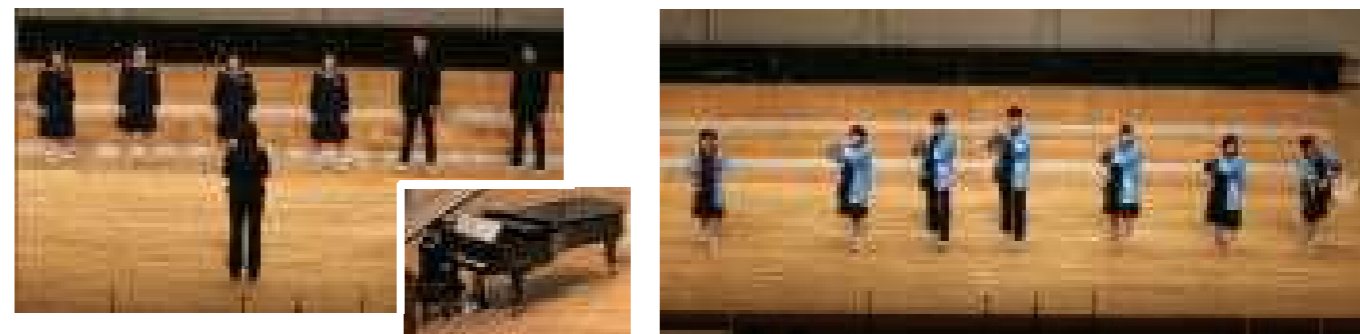


【佐渡市中学校音楽発表会 11/8(木)】

小学校音楽発表会の翌日、同じ会場で佐渡市中学校音楽発表会が行われました。

生徒会長 K・Tさんの学校紹介の後、いよいよ前浜中学校の発表の始まりです。今年度の合唱「僕らの奇跡」は、K・Hさんがピアノ伴奏を担当しました。その分1名少ない6名での混声合唱でしたが、伴奏者も歌い手も一生懸命さの伝わるパフォーマンスを披露してくれました。その後は恒例の「前浜ばやし」の演奏です。篠笛での「遅」の音色に合わせ、後ろ向きに並んだ7名が順に客席の方を振り向く演出でスタートです。次は「早」に転じ、篠笛担当の生徒たちが客席に降りて演奏を行いました。最後は全員一列になったの「早々」。一歩ずつ前進した後に、「ヤー!」のかけ声で決めました。

終わった後、惜しみない拍手が7名の生徒に送られました。



赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

10月22日(月)～26日(金)、JRC委員の児童が玄関に立ち、赤い羽根共同募金のお願いをしました。

たくさんの人たちが協力してくれた結果、総額3,313円が集まりました。ご協力ありがとうございました。

